三木市
SDGs未来都市

誇りを持って暮らせるまち三木

三木市記者発表資料　（令和8年11月20日発表）			
担当部課名	**担当長**	**担当係**	**電話番号**
健康福祉部 障がい福祉課	課長　西本敬子 （内線 2394）	障がい者支援係	0794-82-2000 （内線 2304）

タイトル

「障がい者週間作品展示会」を開催

～多世代交流施設 HITOTOKIMIKI と初コラボ

作品・体験を通じて障がいのある方を知るきっかけに～

本件のポイント

・市の障がい福祉事業と多世代交流施設 HITOTOKIMIKI との初のコラボ
・障がいのある方を雇用する企業や障がい福祉サービス事業所と体験ワークショップを開催
・市内団体と手話×絵本の読み聞かせを開催

説明文

三木市は、障がいのある方の作品展示を通じて障がいへの理解を深める「障がい者週間作品展示会」を、12 月 3 日（木）から 9 日（水）まで開催します。

今年は、昨年度までの市役所、吉川図書館に加え、今年度オープンした多世代交流施設 HITOTOKIMIKI を新たな会場に加えます。多世代交流施設 HITOTOKIMIKI が市の担当課と一つのイベントを共に作り上げるのは今回が初めてで、障がい者週間に民間企業と連携して実施するのも初めての試みです。障がいのある方が働く企業や事業所、市内団体の協力により、体験ワークショップや手話を交えた絵本の読み聞かせも開催します。

1　日　　時　令和 8 年 12 月 3 日（木）午後 1 時～9 日（水）正午
※展示時間は午前 9 時～午後 4 時 30 分
（多世代交流施設 HITOTOKIMIKI は午前 9 時～午後 8 時）

2　場　　所　三木市役所みっきぃホール・プロムナード
吉川図書館よかとこルーム
多世代交流施設 HITOTOKIMIKI


過去展示作品

3　内　　容　(1)　作品展示
障がいのある方が制作した絵画、工作、書道、アクセサリーなどを、上記 3 施設 4 会場で展示します（参加事業者・団体：26）。
みっきぃホールでは、平日のみここいろひんの販売も行います。
※ここいろひんとは…兵庫県が公募の中から選定した障害福祉サービス事業所で製作された商品。それらの商品がより身近に親しんでいただけるようにという願いが込められている。
(2)　コラボワークショップ（会場：多世代交流施設 HITOTOKIMIKI）
ア　12 月 4 日（金）　ミニ胡蝶蘭の植え替え体験
障がいのある方も働いている大和ハウスブルーム株式会社で

作られているミニ胡蝶蘭植え替え体験午後1時・2時・3時の各回8名程度、参加費2,000円、要予約（申込方法：チラシ記載の二次元コードより申し込み）。

イ　12月5日（土）　クリスマスツリーづくりワークショップ

特定非営利活動法人人優福祉会が運営しているカフェ「Dish」で実施。スタッフが手づくりのコツを伝えます。参加費400円、先着40名、予約不要、随時受付。

ウ　12月6日（日）　手話で絵本の読み聞かせ

午前11時から、手話サークルみきの協力で、手話を交えた絵本の読み聞かせ（20分程度）を行います。終了後は、指の形で文字を表す「指文字」を使った「指文字お名前カード」づくりも楽しめます。参加費無料、予約不要。※混雑時は規制する可能性有

(3)　障がいへの理解を深める展示

プロムナードと多世代交流施設HITOTOKIMIKIで障がい者週間の趣旨や高次脳機能障害についての展示を行うほか、プロムナードでは小中学生が作成した手話普及啓発ポスターを展示します。

4　ホームページ

https://www.city.miki.lg.jp/soshiki/26/86338.html

本案件は次のSDGs目標に関連します。

